

- 1 事業名
平成27年度教育事業「体験の風をおこそう」運動協賛事業 テンパークまつり2015
- 2 趣旨（事業の目的）
岩手山青少年交流の家（テンパーク）を広く地域に開放し、当施設の様々な活動プログラムなどの体験を通して、施設の理解と利用の促進を図ると共に震災復興に立ち向かっている県民の元気回復に寄与する。
- 3 期日
平成27年9月27日（日）9：00～15：30
- 4 参加者
4,361名
- 5 後援
岩手県教育委員会 盛岡市教育委員会 滝沢市教育委員会
- 6 協力
ユーレストジャパン株式会社, ファーム仁王, りんりん舎, みのりホーム, みどり学園, ことりさわ学園, 和光学園, 岩手大学 IWATE STREET PERFORMANCE CLUB, 元村こどもさんさ愛好会, 国立花山青少年自然の家, 国立磐梯青少年交流の家, 国立那須甲子青少年自然の家
- 7 協賛
(株)浅沼工務店, (社)岩手県薬剤師会検査センター, 岩手トヨペット(株), (株)いんべりネンサプライ, 北岩手環境保全, キョウワセキュリティオン(株), コセキ(株)盛岡営業所, (株)小山商会盛岡営業所, 三機商事(株), (株)三幸堂ビジネス盛岡店, 松栄商事(株), 東北ビル管財(株), (株)ジャパンビバレッジ東北, (株)トリス, 杜陵高速印刷(株), (株)ネクサス, (株)橋市物産, (株)平金商店, 富士水工業(株), (有)万作石油店, フルテック(株), 盛岡ガス燃料(株), (株)ユアテックサービス岩手営業所
みちのく「体験の風をおこそう」運動推進協議会

8 内容

つどいの 広場	開会式(9:00) 和太鼓発表 《みどり学園・ことりさわ学園 (9:00～)》 伝統さんさ踊り《元村こどもさんさ愛好会 (9:45～10:10)》 ジャグリング 《岩手大学 IWATE STREET PERFORMANCE CLUB (10:15～10:45)》 さんさ踊り 《和光学園 (10:55～11:10)》 フードコーナー(9:00～15:00) テンパークスタンプラリー(9:30～15:00) 閉会式(15:30)
多目的B 研修室	カブトムシゆかりの昆虫教室 《カブトムシゆかり(13:00～14:00)》
グラウンド	ストラックアウト(9:30～15:00) ディスク投げ(9:30～15:00) スナッグゴルフ(9:30～15:00) PKボーリング(9:30～15:00)
体育館	スリッパ飛ばし(9:30～15:00) ハンガー釣り(9:30～15:00) 寝袋はやたたみ(9:30～15:00)

卓球場	かさバランス (9:30~15:00) ビーズつかみ移し (9:30~15:00) 枕つき (9:30~15:00)
ホール	こけしの絵付け 《花山青少年自然の家 (9:00~15:00)》
研修室	七宝焼 (9:00~15:00) チャグチャグ絵馬 (9:00~15:00) あけびつるクラフト① (9:00~12:00) ② (13:00~15:00)
曲家	昔の話を聞いてみよう ① (11:00~11:30) ② (13:15~13:45) ③ (14:15~14:45) 草木染め① (10:30~12:00) ② (13:00~14:30)

(2) 指導者

あけびつるクラフト	国立岩手山青少年交流の家	創作活動指導員	田中 潔 氏
チャグチャグ絵馬		創作活動指導員	階 幸男 氏
草木染め		創作活動指導員	西田 宏子 氏
昔の話を聞いてみよう		指導員	太田トミエ 氏
		指導員	藤沢 昭子 氏
		指導員	斉藤 桃江 氏
こけしの絵付け	国立花山青少年自然の家	企画指導専門職	村上 卓 氏
		企画指導専門職	奥山 洋 氏
		安全推進専門職	曾根 正幸 氏
		事業推進係	松田久美子 氏
スナッグゴルフ	国立磐梯青少年交流の家	企画指導専門職	岡本 康博 氏
	国立那須甲子青少年交流の家	事業推進係	湯川 枢 氏

(3) 企画のポイント

特別企画ということで、カブトムシゆかりさんを講師に「カブトムシゆかりの昆虫教室」を開催したり、地元の滝沢市に古くから伝わる伝統さんさのこどもたちによる発表や、岩手大学学生によるジャグリングのステージ発表を盛り込んだりすることで、多様な来場者に楽しんでもらえるよう配慮した。

(4) 広報のポイント

盛岡市、紫波町、矢巾町、八幡平市、雫石町、滝沢市の全小学校と盛岡市、八幡平市、滝沢市の幼稚園と保育園にチラシを送付した。滝沢市広報誌へチラシの折り込み、地域情報誌、HPへの掲載を行った。

9 成果とその普及

当日は、施設ボランティアや社会教育実習生・インターンシップを含め約80名のスタッフで運営し、4,361名の参加者から100%の満足度を得ることができた。参加者からは「毎年楽しみにしています。」「職員の方々やボランティアの皆さんが親切で良かったです。」等の感想を頂いた。このことにより、施設の理解と利用促進を図ると共に震災復興に立ち向かう岩手県民の元気回復に寄与するという当初の目的を達成できたと考える。

特別企画として、テレビやラジオ等で活躍しているカブトムシゆかりさんの昆虫教室を開催したことで、集客率を伸ばすことができた。さらに、新たな活動プログラムとして、「テンパーク10種競技大会」を行い、幼児から大人まで幅広い年齢層の方々が楽しんでいた。

また、東北の国立4施設と連携することで、指導方法や運営方法の情報交換を行うことができた。

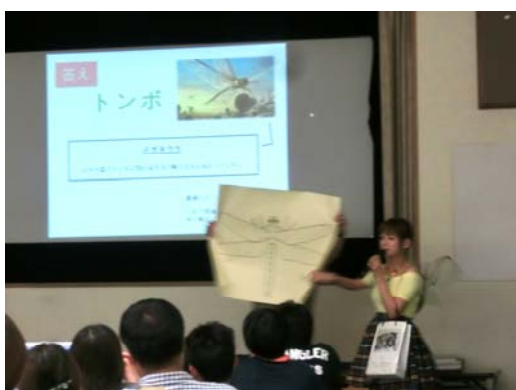
今年度は、協賛として23社を得ることができた。また、連携機関12カ所の他、当施設の活動プログラム登録指導者の協力を得て実施したことにより、各連携先との関係が深められた。

10 今後の課題

今後もより多くの参加者を対象に質の高い内容を提供するためには、活動プログラムの開発とイベント内容の精査、ボランティアスタッフのスキルアップが重要であると考えます。参加者が多かった活動では、参加者をかなり待たせた場面も見られた。時間の調整やスタッフの配置、場の設定の工夫も課題である。

岩手大学学生サークルのステージ発表は質も高く参加者からも好評であった。学校の活動発表の場としての役割も積極的に担っていききたい。

カブトムシゆかりの昆虫教室



創作活動（こけしの絵付け）



スナッグゴルフ（テンパーク10種競技大会）



ステージ発表（元村こどもさんさ愛好会）



テンパーク10種競技大会表彰式



表彰式後の記念撮影

